

初開催の「オホーツク森林フェスティバル」に参加

7月11～13日、網走市駒場木の広場及び4丁目公園でおこなわれた第1回「オホーツク森林フェスティバル」に参加し、その一翼を担ってきました。

今回の森林フェスティバルは、オホーツク総合振興局管内43団体で結成されている「オホーツクみどりネットワーク」が中心となり、木育や木工クラフト、森林環境教育などに取り組んでいる団体が主に集まって、「森林の大切さを広める」ことを目的におこなったものです。

常呂川森林ふれあい推進センターは、網走南部森林管理署、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得ながら、マツボックリを使った「フクロウ」などのクラフト作成やロケットラワンなどの飛ぶタネの模型、パネル展示を取り組みました。



また、森林ボランティア「オホーツクの会」が主体で企画した「ミニ森林散策会」も好評で「普段何気なく散歩していた公園ですが、木の名前や特徴などを聞きながら散策したことでこれからの楽しみが増えました。」などの感想がありました。



観光連盟の応援も戴き、ゆるキャラも登場しましたが、大型スーパーの駐車場から遠く、地形的に窪地で遠くからは見えないこと、一般の歩行者も少ないことなど、全体の来場者は少なめでしたが、参加者の感想はおおむね好評で、次年度に向けた工夫が必要です。

また、折からの台風8号（温帯低気圧）の接近という状況で天候が心配されましたが、3日間とも雨に当たることなく、「みなさんの日頃の精進がこの天候をもたらした。今年は初めての取り組みで課題も明らかになった。今後の皆さんの各地域での奮闘を祈念する。」という実行委員長のまとめのあいさつが印象的でした。

常呂川森林ふれあい推進センターとしても、来年度も協力していきたいと考えております。

